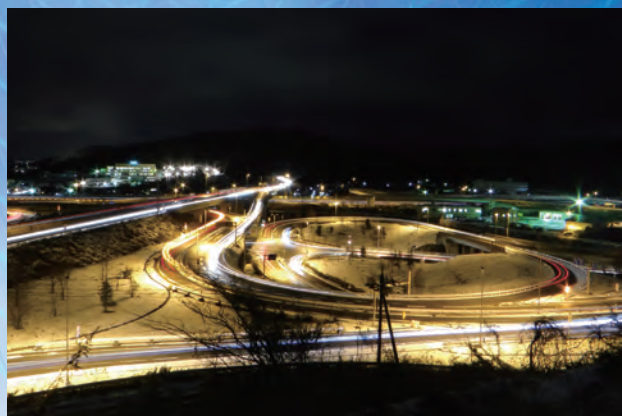




北陸の地域づくり2022

AR マークの付いた写真は、ARアプリ「COCOAR(ココアル)」が連動し、アプリを通してスマートフォン越しに見ると動画のデジタルコンテンツが再生されます。



COCOAR[®]
by CloudCIRCUS

このQRコードから無料アプリをダウンロードできます。



公開期間:2023年3月末まで



事業概要 / 管内図
国土交通省 北陸地方整備局

北陸地方の現況

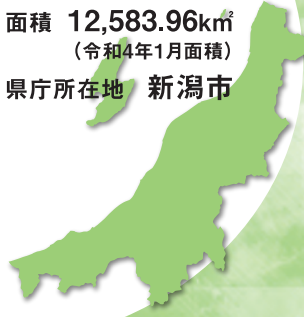
新潟県

日本海沿岸のほぼ中央部に位置し、東側に連なる朝日山地、飯豊山地、越後山脈、西側に発達する西頸城山地および白馬山地の山々に囲まれています。また、これらの山岳に源を発する信濃川、阿賀野川の流域に日本海沿岸随一の広大な越後平野が広がっています。

人口 2,169,039人
(令和4年2月1日現在)

面積 12,583.96km²
(令和4年1月面積)

県庁所在地 新潟市



製造品出荷額等

4,958,899百万円(令和2年)

出典:経済産業省ホームページ 2020年工業統計表 *都道府県別

河川の延長

5,373.4km(令和2年)

出典:国土交通省ホームページ 一般河川の河川延長等調査 *都道府県別

道路の延長

30,734.1km(令和2年)

出典:国土交通省ホームページ 道路統計年報2020 道路の現況

港湾別コンテナ取扱量(新潟港)

232,831TEU(令和2年)

出典:国土交通省ホームページ 港湾別コンテナ取扱量(TEU)ランキング(2020年速報値)

新潟県の日本一

原油の生産量

359,682kℓ
(令和元年)

重要有形民俗文化財

指定件数(国指定)

17件
(令和3年)

石油ストーブの

出荷額

432億円
(令和元年)

カップ麺の支出金額

(新潟市/一世帯あたり)

6,928円

(令和元年~令和3年平均)

金属洋食器の

出荷額

107億円

(令和元年)

水稻収穫量

666,800t

(令和2年)



県の花

チューリップ

(昭和38年8月23日制定)



県の鳥

トキ

(昭和40年9月13日指定)



県の木

ユキツバキ

(昭和41年8月27日制定)



県の草花

雪割草

(平成20年3月1日指定)

出典:総務省統計局ホームページ 新潟県ホームページ

富山県

南北にのびる日本列島の中心、本州の中央北部に位置し、東は新潟県と長野県、南は岐阜県、西は石川県に隣接しています。三方を急峻な山々に囲まれ、深い湾を抱くように平野が広がっており、富山市を中心に半径50kmという地形が特徴です。

人口 1,021,682人
(令和4年2月1日現在)

面積 4,247.54km²
(令和4年1月面積)

県庁所在地 富山市



製造品出荷額等

3,912,395百万円(令和2年)

出典:経済産業省ホームページ 2020年工業統計表 *都道府県別

河川の延長

1,846.5km(令和2年)

出典:国土交通省ホームページ 一般河川の河川延長等調査 *都道府県別

道路の延長

14,028.8km(令和2年)

出典:国土交通省ホームページ 道路統計年報2020 道路の現況

港湾別コンテナ取扱量(伏木富山港)

66,669TEU(令和2年)

出典:国土交通省ホームページ 港湾別コンテナ取扱量(TEU)ランキング(2020年速報値)

富山県の日本一

年平均相対湿度

78%

(令和2年)

ぶりの購入数量

3,965g

(令和元年~令和3年平均)

持ち家住宅の

居住室の広さ

53.83畳
(平成30年)

高校生の就職内定率

99.9%

(令和3年)

チューリップの

球根出荷量

13,527千球
(令和元年)

電気料金

(富山市/一世帯あたり)

170,614円
(令和2年)



県の花

チューリップ

(昭和29年3月22日選定)



県の鳥

ライチョウ

(昭和36年11月3日制定)



県の木

タテヤマスギ

(昭和41年10月1日制定)



県の獣

ニホンカモシカ

(昭和50年10月4日制定)

出典:総務省統計局ホームページ 文部科学省ホームページ 富山県ホームページ

石川県

北陸地方の中部に位置し、東は富山県・岐阜県に、南は福井県に接し、白山国立公園に源を発する手取川による肥沃な加賀平野、北は能登半島となって日本海に突出しています。県都金沢は日本でも有数の城下町で、歴史の面影を残す一方、近代的な街づくりも進んでいます。

人口 1,122,263人
(令和4年2月1日現在)

面積 4,186.21km²
(令和4年1月面積)

県庁所在地 金沢市



製造品出荷額等

3,005,895百万円(令和2年)

出典:経済産業省ホームページ 2020年工業統計表 *都道府県別

河川の延長

1,502.6km(令和2年)

出典:国土交通省ホームページ 一般河川の河川延長等調査 *都道府県別

道路の延長

13,175.6km(令和2年)

出典:国土交通省ホームページ 道路統計年報2020 道路の現況

港湾別コンテナ取扱量(金沢港)

62,234TEU(令和2年)

出典:国土交通省ホームページ 港湾別コンテナ取扱量(TEU)ランキング(2020年速報値)

石川県の日本一

金属はく(打ちはく)

出荷額

3,084百万円
(令和元年)

生鮮魚介類購入額

(金沢市/一世帯あたり)

48,540円
(令和元年~令和3年平均)

年間の通信費

(金沢市/一世帯あたり)

198,003円
(令和2年)

年間雷日数

(金沢市)

45.1日
(平成3年~令和2年平均)

菓子の購入額

(金沢市/一世帯あたり)

103,570円
(令和元年~令和3年平均)

重要伝統的建造物群

保存地区数

8地区
(令和4年)



県の花

クロユリ

(昭和29年3月19日決定)



県の鳥

イヌワシ

(昭和40年1月1日指定)



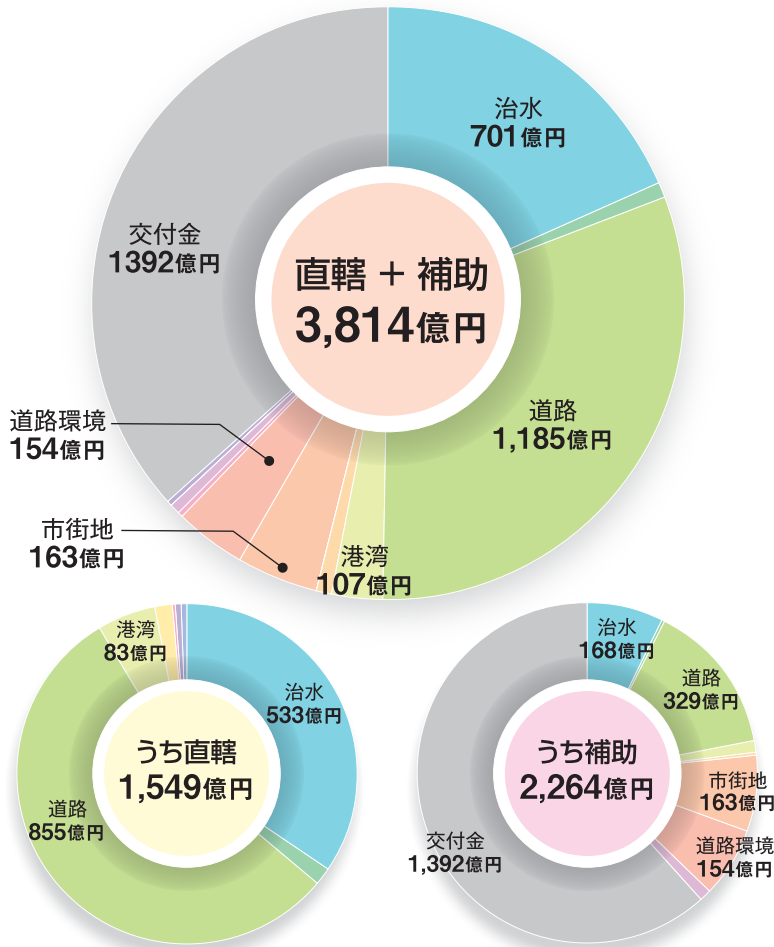
県の木

あて(能登ヒバ)

(昭和41年10月1日指定)

出典:総務省統計局ホームページ 気象庁ホームページ 石川県ホームページ

令和4年度予算の概要



事業別配分額

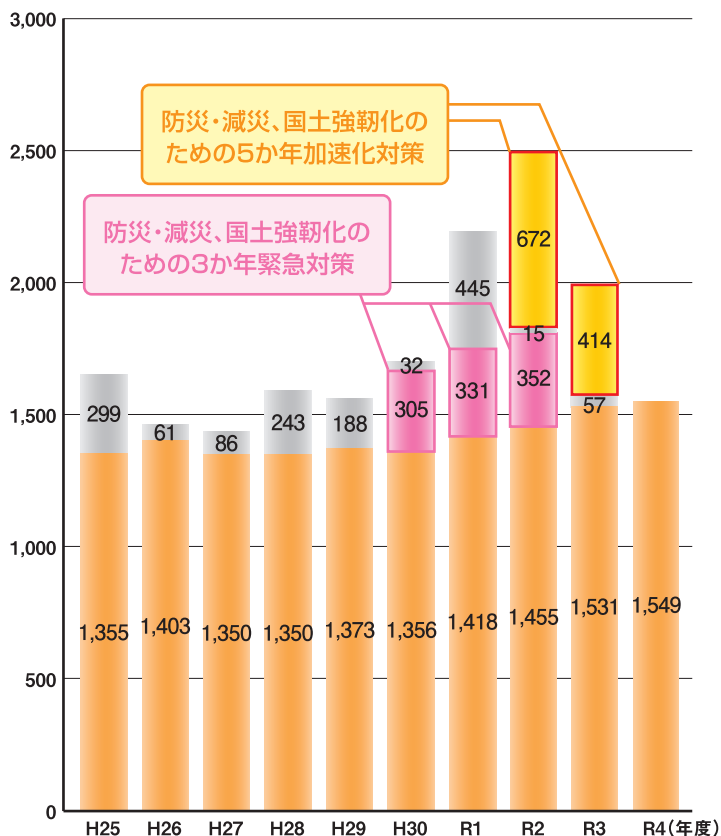
単位: 百万円

区 分	令和4年度当初		
	直 轄	補 助	合 計
治 水	53,350	16,820	70,170
海 岸	2,918	562	3,480
道 路	85,535	32,993	118,528
港 湾	8,397	2,358	10,755
空 港	2,802	—	2,802
住 宅 対 策	—	502	502
市 街 地 整 備	—	16,380	16,380
道 路 環 境 整 備	—	15,419	15,419
都市水環境整備	581	—	581
下 水 道	—	2,170	2,170
国 営 公 園 等	841	—	841
官 庁 営 繕	539	—	539
小 計	154,963	87,204	242,167
交 付 金	—	139,264	139,264
合 計	154,963	226,468	381,431

※計数はそれぞれ四捨五入しているため端数において合計とは一致しないものがあります。

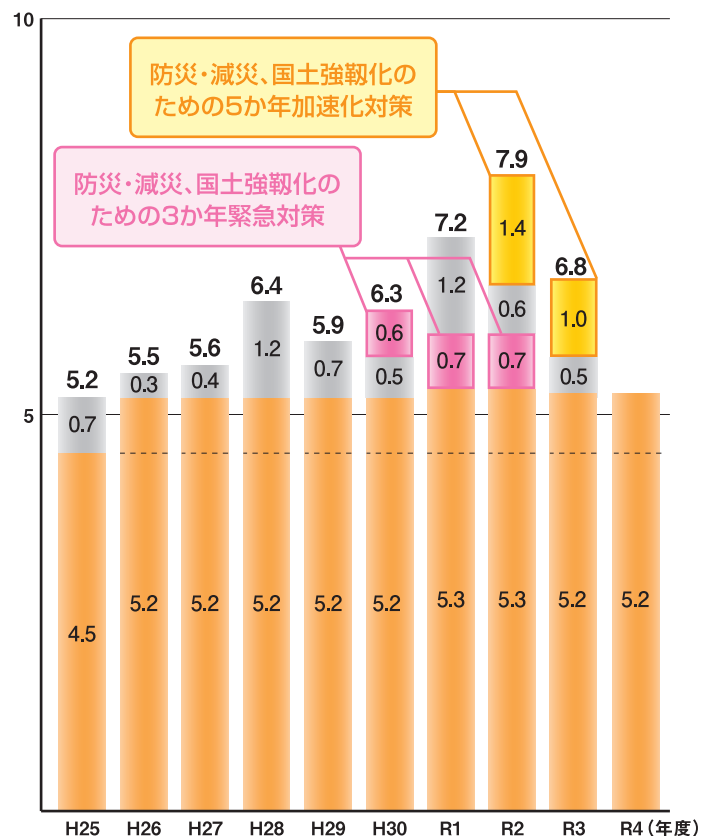
北陸地方整備局の直轄事業予算推移

事業費: 億円 当初予算 補正・予備費



参考 公共事業関係費(国土交通省)の推移

事業費: 兆円 当初予算 補正・予備費

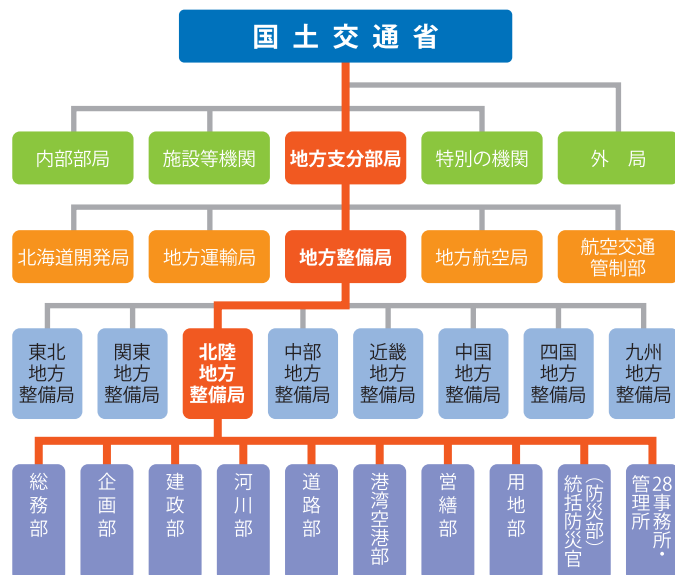


組織概要

北陸地方整備局は、国土交通省の地方支分部局（出先機関）として、道路、河川、港湾、空港などの整備及び維持管理、防災対策などを所管しています。また、直轄事業を施行する事務所・管理所と出張所を有し、調査・計画、用地取得、工事・監督、維持・管理、防災対策の業務を約1,800名の職員で行っています。

管轄する区域内の関係県は、新潟、富山、石川の全域と、山形、福島、長野、岐阜、福井の一部を所管しています。

組織体制



事務所等連絡先

図N0./名称	所在地	電話	ホームページ
① 高田河川国道事務所	〒943-0847 新潟県上越市南新町3番56号	025-523-3136	https://www.hrr.mlit.go.jp/takada/
② 羽越河川国道事務所	〒959-3196 新潟県村上市藤沢27-1	0254-62-3211	https://www.hrr.mlit.go.jp/uetsu/
③ 信濃川河川事務所	〒940-0098 新潟県長岡市信濃1丁目5番30号	0258-32-3020	https://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/
④ 信濃川下流河川事務所	〒951-8153 新潟県新潟市中央区文京町14番13号	025-266-7131	https://www.hrr.mlit.go.jp/shinaga/
⑤ 阿賀野川河川事務所	〒956-0032 新潟県新潟市秋葉区南町14番28号	0250-22-2211	https://www.hrr.mlit.go.jp/agano/
⑥ 湯沢砂防事務所	〒949-6102 新潟県南魚沼郡湯沢町大字神立23	025-784-2263	https://www.hrr.mlit.go.jp/yuzawa/
⑦ 長岡国道事務所	〒940-8512 新潟県長岡市中沢4丁目430-1	0258-36-4551	https://www.hrr.mlit.go.jp/chokoku/
⑧ 新潟国道事務所	〒950-0912 新潟県新潟市中央区南笹口2丁目1番65号	025-244-2159	https://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/
⑨ 富山河川国道事務所	〒930-8537 富山県富山市奥田新町2番1号	076-443-4701	https://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/
⑩ 黒部河川事務所	〒938-0042 富山県黒部市天神新173番地	0765-52-1122	https://www.hrr.mlit.go.jp/kurobe/
⑪ 立山砂防事務所	〒930-1406 富山県中新川郡立山町芦崎寺字ブナ坂61番地	076-482-1111	https://www.hrr.mlit.go.jp/tateyama/
⑫ 利賀ダム工事事務所	〒939-1363 富山県砺波市太郎丸1丁目5番10号	0763-33-4701	https://www.hrr.mlit.go.jp/toga/
⑬ 金沢河川国道事務所	〒920-8648 石川県金沢市西念4丁目23番5号	076-264-8800	https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/
⑭ 飯豊山系砂防事務所	〒999-1363 山形県西置賜郡小国町大字小国小坂町3丁目48	0238-62-2566	https://www.hrr.mlit.go.jp/iide/
⑮ 阿賀川河川事務所	〒965-8567 福島県会津若松市表町2番70号	0242-26-6441	https://www.hrr.mlit.go.jp/agagawa/
⑯ 千曲川河川事務所	〒380-0903 長野県長野市鶴賀字峰村74番地	026-227-7611	https://www.hrr.mlit.go.jp/chikuma/
⑰ 松本砂防事務所	〒390-0803 長野県松本市元町1丁目8番28号	0263-33-1115	https://www.hrr.mlit.go.jp/matamoto/
⑱ 神通川水系砂防事務所	〒506-1121 岐阜県飛騨市神岡町殿1020番地4	0578-82-1220	https://www.hrr.mlit.go.jp/jintsu/
⑲ 三国川ダム管理所	〒949-6741 新潟県南魚沼市清水瀬686-59	025-774-3015	https://www.hrr.mlit.go.jp/saguri/
⑳ 大町ダム管理所	〒398-0001 長野県大町市平字ナロヲ大クボ2112-71	0261-22-4511	https://www.hrr.mlit.go.jp/omachi/
㉑ 北陸技術事務所	〒950-1101 新潟県新潟市西区山田2310-5	025-231-1281	https://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/
㉒ 国営越後丘陵公園事務所	〒940-2043 新潟県長岡市宮本東方町字三ツ又1950番1	0258-47-1471	https://www.hrr.mlit.go.jp/echigo/
㉓ 金沢宮繕事務所	〒920-0024 石川県金沢市西念3丁目4番1号 金沢駅西合同庁舎3F	076-263-4585	https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawaeizen/
㉔ 新潟港湾・空港整備事務所	〒951-8011 新潟県新潟市中央区入船町4丁目3778	025-222-6111	https://www.niigata.pa.hrr.mlit.go.jp
㉕ 伏木富山港湾事務所	〒930-0856 富山県富山市牛島新町11-3	076-441-1901	https://www.toyama.pa.hrr.mlit.go.jp
㉖ 金沢港湾・空港整備事務所	〒920-0331 石川県金沢市大野町4-2-1	076-267-2241	https://www.kanazawa.pa.hrr.mlit.go.jp
㉗ 敦賀港湾事務所	〒914-0065 福井県敦賀市松栄町7-28 敦賀地方合同庁舎3階	0770-22-2590	https://www.tsuruga.pa.hrr.mlit.go.jp
㉘ 新潟港湾空港技術調査事務所	〒951-8011 新潟県新潟市中央区入船町4丁目3778	025-222-6115	https://www.gicho.pa.hrr.mlit.go.jp

お問い合わせ先／本冊子の内容、その他、北陸地方整備局全般についてのお問い合わせは下記まで。



国土交通省 北陸地方整備局 企画部企画課

〒950-8801 新潟県中央区美咲町1丁目1番1号 新潟美咲合同庁舎1号館
tel:025-280-8880 e-mail:kikaku@hrr.mlit.go.jp HP:https://www.hrr.mlit.go.jp/

令和4年4月 現在

北陸地方の特徴

美しい自然環境と、自然災害発生要因をあわせ持つ地域

日本列島を縦断する3,000m級の山々から日本海沿岸地域に至る変化に富んだ自然は、美しい景観や多様な生態系と豊かな水環境を育む一方、急峻な地形、脆弱な地質、急流河川を形成し、日本有数の降水量や冬期の季節風・降雪など、多くの自然災害の発生要因を有しています。



3,000m級の山々から日本海沿岸に至る豊かな自然
(呉羽山より望む立山連峰(富山県))



日本有数の豪雪地帯を通過する国道17号における除雪
(新潟県長岡市)



荒廃の著しい白山から下流域を守り続ける基之助谷砂防堰堤群
(石川県白山市)

令和元年台風からの復興へのあゆみ

大型で非常に強い台風19号は、令和元年10月12日の夕方から夜にかけて、非常に強い勢力を保ったまま東海・関東地方に上陸し、台風本体の発達した雨雲の影響により、広範囲で記録的な大雨となりました。北陸地方整備局管内では、千曲川の堤防が決壊し、緊急復旧工事を実施したほか、各河川で被害が発生しました。令和3年2月より、千曲川本川の水位低下を目指して、立ヶ花・戸狩狭窄部の河道掘削を実施しており、早期の復興に向け、着実に歩んでいます。



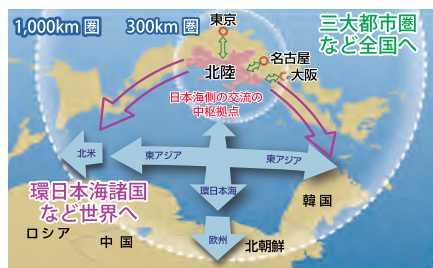
堤防決壊状況(令和元年10月13日)



立ヶ花狭窄部の河道掘削状況(令和3年12月)

アジア諸国・極東ロシアにひらかれ、三大都市圏に近接する北陸

日本列島の扇の要に位置する北陸地方は、三大都市圏のいずれからも300km圏内にあり、中国をはじめとする東アジア諸国や極東ロシアと日本海を挟んで対面するなど、環日本海諸国とを結ぶ交通結節点として、また、三大都市圏等を結ぶ連携軸と日本海側の国内各都市間の連携軸が交差する中枢地点として、地理的優位性を有しています。防災面では、太平洋側での大規模災害発生時における広域的な防災活動や産業経済活動のバックアップ機能を発揮する役割を果たしており、「日本海・太平洋2面活用型国土の形成」を牽引する地域を目指しています。



環日本海諸国と対面する北陸地方



地域経済を支える新潟港(新潟県新潟市・聖籠町)



太平洋側大規模災害時におけるバックアップ体制のイメージ



災害支援物資の緊急輸送状況

豊かな歴史・文化と優れた住環境

北陸地方は、豊かな歴史文化遺産や文化的景観を有し、人口・産業等が集積する主要な都市が接続し、都市周辺の多様な自然環境と近接する農山漁村が相まって、都市の利便性と豊かな自然のめぐみ、ゆとりある暮らしなど、優れた住環境を有します。一方で、全国より速いペースで人口減少が進行し、地域の活力低下が危惧されており、中心市街地の活性化などの課題に対応するため、新潟駅での連続立体交差や、富山市などでコンパクトなまちづくりが進められています。



新潟駅付近連続立体交差事業(新潟県新潟市)



※完成イメージ 路面電車の南北接続(富山県富山市)



歴史・文化を活かしたまちづくり、金沢城公園の整備(石川県金沢市)

安心・安全

- 激甚化・頻発化する豪雨等の影響を踏まえた流域治水等の推進
- 厳しい気候条件を踏まえた計画的なインフラメンテナンスの推進
- 太平洋側での災害発生時の広域的なバックアップや代替性の確保

防災・減災、国土強靱化のための5カ年加速化対策

気候変動の影響により激甚化・頻発化する風水害や切迫する地震災害に屈しない、強靱な国土づくりに向け、近年相次ぐ地震、大規模自然災害からの復旧・復興を図るとともに、「防災・減災、国土強靱化のための5カ年加速化対策」を計画的に進め、防災・減災、国土強靱化を強力に推進します。

流域治水プロジェクト

気候変動による水災害リスクの増大に備えるために、令和3年5月に交付された流域治水関連法も踏まえた「流域治水」の考え方にに基づき、堤防整備、ダム建設・再生などの対策をより一層加速するとともに、自助・共助・公助の観点に立って、国・都道府県・市町村、企業・住民など流域のあらゆる関係者でハード・ソフト一体で総合的・多層的な水災害対策の本格的実践を進めます。



令和の大改修 大河津分水路（国）



大町ダム等再編事業（国・電力事業者）



マイタイムラインの作成支援（国）



田んぼダムの実施（県・市町村・土地改良区）



TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)による 防災・減災、国土強靱化への対応ための体制強化

大規模自然災害発生時に、被災した地方公共団体等に対して、被災状況調査や応急対策などの技術的な支援を円滑かつ迅速に実施するため、平成20年4月に全国の地方整備局等の職員で組織するTEC-FORCE(Technical Emergency Control Force)を発足しました。

北陸地方整備局では、これまでに45回、延べ人数8,091人の派遣を行っています。南海トラフ地震や首都直下地震をはじめ、大規模災害の発生が懸念されている中、令和3年4月には、隊員数を727人に増強(発足当時220人)しています。引き続き、防災・減災、国土強靱化のための体制強化を図ります。

(写真は全て、令和元年東日本台風における活動状況)



ヘリによる被災状況調査（長野県長野市）



被災状況調査(河川)（長野県佐久穂町）



応急対策(路面堆積土砂撤去)（長野県長野市）

応急対策(緊急排水)（長野県小布施町）

活力・成長力

- ネットワーク形成による観光交流の拡大
- 日本海側の交流拠点の連携強化と太平洋側との連携
- 太平洋側での災害発生時の広域的なバックアップや代替性の確保

日本海側の交流拠点の連携強化と太平洋側との連携

多核連携型の国づくりや安定した人流・物流の確保に対応するため、国土全体として安全で円滑な人やモノの移動を確保することが必要であり、速達性とアクセス性が確保された国土幹線道路ネットワークの構築に向けて、高規格道路等の整備や機能強化に取り組むとともに、交通拠点の整備によるモーダルコネク트의強化や渋滞対策、物流支援等の取組を進めます。

高規格道路の整備



高速ネットワーク形成による高規格道路のミッシングリンク解消を目的とした朝日温海道路（新潟県上市）



高速ネットワーク形成による能登半島の発展、観光の活性化などを目的とした輪島道路（石川県輪島市）

地域経済を支える港湾機能の強化

社会経済活動を確実に回復させるとともに、経済の好循環を加速・拡大させるため、生産性の向上及び国際競争力の強化に取り組みます。このため、国際拠点港湾、重要港湾を中核として、また持続可能な社会の実現、脱炭素化に配慮したカーボンニュートラルポート(CNP)の形成計画の策定に対する支援、官民一体となった取組で港湾機能の強化を推進し、強靱なサプライチェーンの構築など成長を支える基盤づくりを進めます。



新潟港の港湾機能や企業集積のポテンシャルを活かしたカーボンニュートラル拠点の形成イメージ（新潟県新潟市・聖籠町）



豊かな暮らし・環境

- 暮らしやすいコンパクトな地域づくりの推進
- 地域間交流の促進のための基盤整備
- 地域資源を活かしたまちづくり

自然との共生、賑わいの創出

広域的レクリエーション拠点の整備 多様な世代が「集う場」の創出

国営越後丘陵公園は、本州日本海側で唯一の国営公園です。雪国の特性を活かし、自然との共生のもと「天に学び、地に遊び、人と集う、越の里」をテーマに、広域的レクリエーション拠点整備により、文化活動への対応、良好な都市環境の形成、多様な世代が集う憩いの場の創出を図ります。



多くの入園者で賑わう健康ゾーン
(国営越後丘陵公園:新潟県長岡市)

華やかな彩りに包まれる「香りのばら園」

魅力ある拠点づくり、まちづくりと一体となった水辺空間、地域交流及び観光拠点としての「みなとオアシス」の整備

北陸の豊かな自然、良好な景観を活かした魅力ある水辺空間をまちづくりと一体となって創出するとともに、「道の駅」の整備やみなとオアシスの活用促進により、魅力ある拠点づくりを地域と連携して行っています。



まちづくりと一体となった水辺空間ミズベリング
(新潟県新潟市)

住民によるみなとを核としたまちづくり拠点
あいばーと佐渡と両津港 (新潟県佐渡市)

公共建築・建築行政

北陸地方整備局では、国の行政を行うための国家機関の施設(税務署など)の整備や保安の指導を行う他、公営住宅などの整備にかかる支援など行っています。



下越森林管理署村上支署 (新潟県村上市)



駅北大火復興住宅 (新潟県糸魚川市)

国土交通分野のデジタルトランスフォーメーション(DX)や働き方改革の推進

昨今の社会経済状況の激しい変化に対応すべく、インフラ分野においてもデータとデジタル技術を活用したDXの取り組みを推進します。国民のニーズを基に社会資本や公共サービス、さらには業務そのものや、建設業及び北陸地方整備局の文化・風土や働き方を変革することで、インフラへの国民理解を促進すると共に、安全・安心で豊かな生活を実現を目指します。

DXが創る豊かな未来イメージ(写真は現在進行中)



橋梁・ダムなどの点検を遠隔・無人で出来る

遠隔操作で施工現場の監視ができる

自分の動作に合わせて
遠隔で操作してくれるロボット

ロボットが自分で考えて建設資材を運ぶ

パワースーツで力がなくても簡単に!